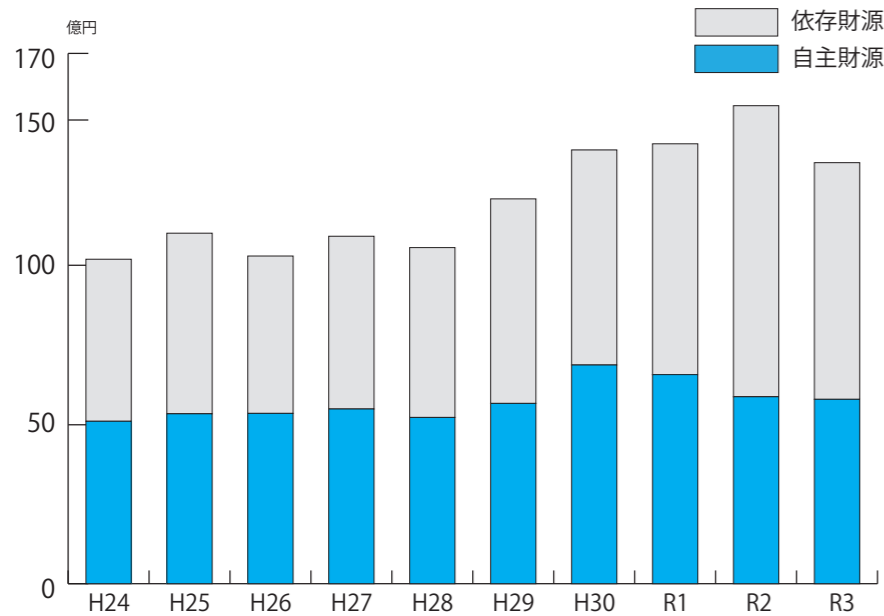
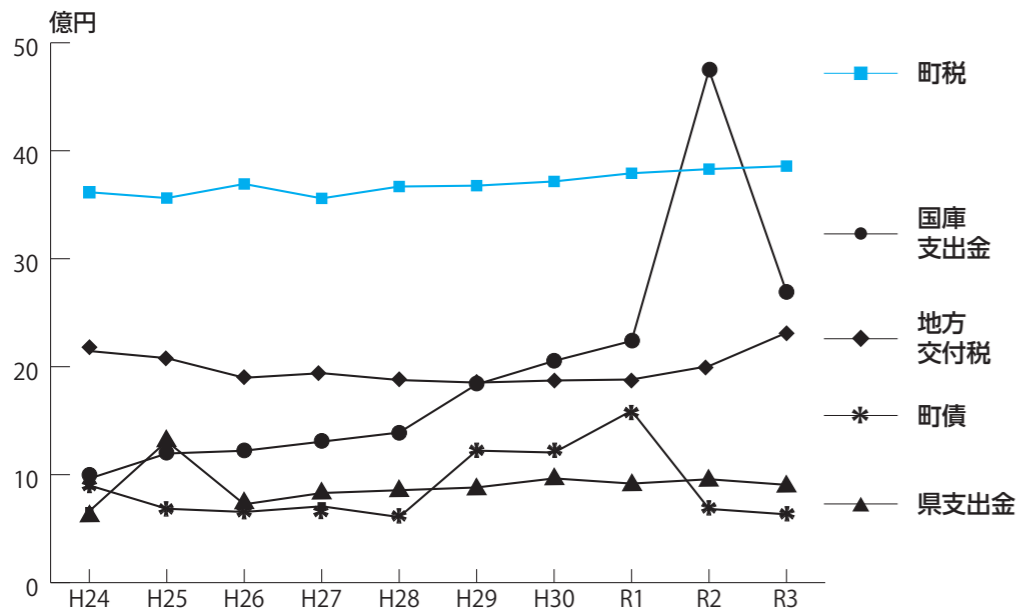


財源の推移



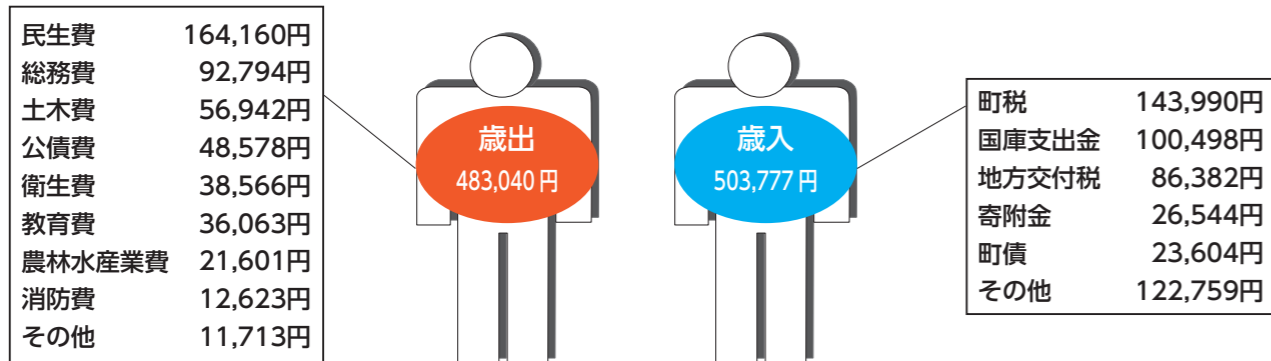
歳入に占める、自主財源と依存財源の割合です。自主財源の割合「自主財源比率」が高いほど、国や県などへの依存度が低く、財政が健全と判断できる一つの基準となります。令和3年度は、自主財源比率は43.8%で前年度比4.7%増加、依存財源比率は56.2%で前年度比4.7%減少しましたが、近年依存財源比率が高い傾向にあります。

主な歳入科目の決算額推移



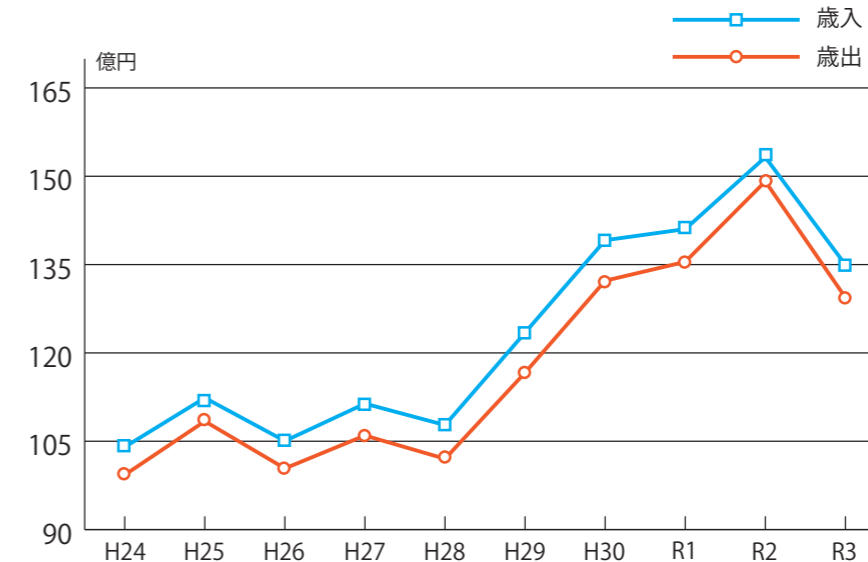
町税は市町村たばこ税の増収などにより、前年度比約3千万円増加し、高い数値を維持しています。町債は公共事業などに係る経費の減により、前年度比約5千万円減少しました。国庫支出金は子育て世帯等臨時特別支援事業に係る国補助が増となった一方、昨年度の特別定額給付金関連の補助金が非常に大きかったため、前年度比約20億5千万円の減となりました。

町民一人当たりの歳入出額 (令和4年3月31日の人口26,792人で算出)



過去10年の歳入、歳出の決算規模

令和3年度決算は、前年度と比較して歳入は18億2616万円減、歳出は19億7131万円減となりました。



令和3年度決算概要

令和3年度の町の収入と支出の実績を表す決算が、町議会定例会9月会議で認定されました。一般会計では歳入が約135億円、歳出が約129億円となりました。ここでは決算の概要について紹介します。

歳入

